

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅰ 人と人がつながる地域づくり

I－1． 持続可能な地域づくりを支える人材育成

★めざす姿 ⇒ 「支え手」と「受け手」で分かれるのではなく、誰もが役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域にします。

- ★実現に向けて
- ⑥ 意欲のある人材の地域福祉活動への参加促進、継続および定着を図ります。
 - ⑦ 福祉教育・ボランティア活動支援を推進します。
 - ⑧ 地域福祉を担う人材の発掘の場をつくります。
 - ⑨ さまざまな地域福祉への参加提案をします

No.	実現に向けての主な目標	回答課	現状 (R2)	目標 (R8)	R4	令和4年度具体的な取組内容	R5	令和5年度具体的な取組内容	めざす姿に向けた成果と課題
3	健康づくりの 担い手の人数 ⑥	健康長寿課	137	201	139	介護予防ボランティア 67人 フレイルサポーター 18人 食生活改善推進員 54人 (R4. 4. 1現在)	145	介護予防ボランティア 71人 フレイルサポーター 27人 食生活改善推進員 47人 (R5. 4. 1現在)	○成果 各担い手を継続して養成するとともに、 フォローアップ研修会などを行い、活動意 欲の維持向上を図った。 ○課題 担い手数は、わずかながら増加しているも のの、高齢や家族の介護等を理由に活動 をやめる人の増加や、新規参加者が集まりに くいなど、担い手の確保に課題がある。
4	福祉教育・体験学習 推進校の活動件数 ⑦	社会福祉 協議会	60	70	55	・市内小中学校及び高等学校全校を 推進校に指定 ・2月27日西中学校3年生を対象に ヤングケアラー講演会を実施	64	・市内小中学校及び高等学校全校を 推進校に指定 ・7月18日鶴ヶ島清風高校全生徒を対象に ヤングケアラー講演会を実施 (オンライン)	○成果 コロナ禍の収束と共に、交流を行う学校が 増え市民講師と児童・学校との顔の見える 関係性づくりができた。 児童が地域で当事者講師に出会い、声掛 け・サポートをした出来事があり、共に生 きる学びへとつながった。ヤングケアラー 講演会を西中学校と清風高校で実施したこ とでヤングケアラーについて啓発できた。 ○課題 コロナ禍により学校と地域のつながりがな くなった地域について、再度交流が持てる ようにすることが課題。

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅰ 人と人がつながる地域づくり

I－2. 地域での居場所づくり

★めざす姿 ⇒ 身近な地域で、多世代が気軽に交流でき、相談できる居場所や拠点がたくさんある地域にします。

- ★実現に向けて
- ⑩多世代・多文化のふれあい、交流ができる居場所づくりの促進を図ります。
 - ⑪居場所の立ち上げや運営支援を行います。
 - ⑫さまざまな拠点づくりを推進します。
 - ⑬地域活動に参加できない方などに向けてのアウトリーチの手法を活用した取り組みを行います。

No.	実現に向けての主な目標	回答課	現状 (R2)	目標 (R8)	R4	令和4年度具体的な取組内容	R5	令和5年度具体的な取組内容	めざす姿に向けた成果と課題
5	ふれあい・いきいき サロン登録団体数 ⑩	社会福祉 協議会	78	90	75	継続的に活動している団体に助成金を出したり、保険加入を行っている。自分たちの地域で集いの場をつくるきっかけとして、ふれあい・いきいきサロン説明会・代表者会議を実施。	81	継続的に活動している団体に助成金を出したり、保険加入を行っている。自分たちの地域で集いの場をつくるきっかけとして、ふれあい・いきいきサロン説明会・代表者会議を実施。	○成果 サロンの活動場所が、目標の90箇所を超えた。特に健康づくりを主とした体操のサロンが増えた。 ○課題 サロンスタッフの高齢化と担い手不足があり、企業の定年が伸びたことから高齢になっても働いている人が多いことが要因と考えている。男性の参加者が少ない。
6	子どもサロン 開催拠点数 ⑪	地域活動 推進課	7	8	7	鶴ヶ島第一小学校を除く7小学校区において、子どもサロンを開催	7	市内7か所の地域支え合い協議会で、宿題サロンなどの子どもサロンを実施。	○成果 7小学校区における開催を維持することができている。 ○課題 これまで、鶴ヶ島第一小学校区での開催がなかったが、令和7年度に事業の開始が見込まれている。

第3次鶴ヶ島市地域福祉計画・鶴ヶ島市社会福祉協議会地域福祉活動計画 中間評価表

基本方針Ⅰ 人と人がつながる地域づくり

I－3. わかりやすい情報発信とつながりづくり

★めざす姿 ⇒ 地域の情報を広く発信することで、地域活動、地域の行事、市民活動などに参加する市民が増え、市民同士のつながりが強い地域にします。

- ★実現に向けて
- ⑭さまざまな地域福祉活動参加へのきっかけづくりに取り組みます。
 - ⑮わかりやすい情報提供の充実を図ります。
 - ⑯さまざまな参加方法の充実を図ります。
 - ⑰地域への広報活動への協力や支援を行います。

No.	実現に向けての主な目標	回答課	現状 (R2)	目標 (R8)	R4	令和4年度具体的な取組内容	R5	令和5年度具体的な取組内容	めざす姿に向けた成果と課題
7	つるがしま 地域づくり便り「えん」 発行部数 ⑭	社会福祉 協議会	3,600 /年	10,800 /年	11,000 /年	年11回発行 ここつなネットの対象者及び協力者、地域のサロン等に配布	12,000 /年	年11回発行 ここつなネットの対象者及び協力者、地域のサロン等に配布	○成果 学校の協力を得て、こども達から対象者支援者に直接渡すことができている。定期的な配布により、つながりが強まった。また、地域のつながりなどについて多くの人に伝えられた。 ○課題 配布予定の人に届かないことがしばしばある。事務的な作業も膨大になっている。 令和6年度発行部数12,000/年
8	市公式SNS※の登録者数 (年度末時点) ⑮	秘書広報課	8,597 /年度末	25,000 /年度末	24,631 /年度末	Twitter 9,167人 LINE 14,223人 Facebook 1,241人	25,770 /年度末	X(旧Twitter) 9,334人 LINE 15,163人 Facebook 1,273人	○成果 目標数値を達成している。 ○課題 多くの人に情報を届けられるようになった。今後は興味をもってもらえるよう発信内容に工夫が必要である。

※ X(旧Twitter)、LINEなど

